



★あそびと食具の関係単純作業でもすっかり夢中に！☆豆移し☆

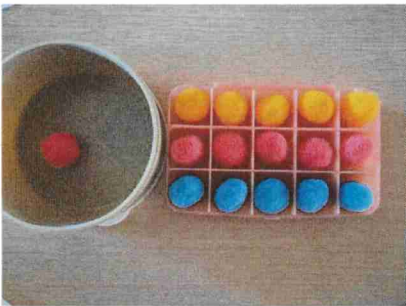
2つの小鉢の1つに、飽きない程度の豆を適量に入れ、左側に置き（右利きの場合）空いている小鉢を右側において1つずつ移すというもので、手本を見せると子どもたちはすぐにやりたがります。



最初は大きなフェルトのボール、そして小さなボール、マカロニや豆と段々小さな物へ発展させ、最後には米粒となります。

移す道具も指からスプーン、シュガートング、ピンセット、最後はお箸へと発展させて、豆の種類と道具の種類を掛け合わせていきます。

この単純な活動に取り組む子どもの表情は真剣そのもので、全て映し終わると「ふう・・・。」とため息をついている子もいるくらいです。



豆うつしは指先の発達を促します

*落とさないように移す*この動きを分解してみると、はじめは親指と人差し指の2本指でつまむ動きを習得し、次に中指が加わった3本指になり、その3本で道具を使うという、指先の発達にぴったりあった練習問題のようなものなのです。何度もくり返すうちに、目に見えて上手になるので、集中して取り組むのうなずけます。

子どもの集中力と達成感を引き出す瞬間を楽しみながら、手先の発達を育てる遊びの紹介でした（＾＾）